

国営かんがい排水事業 「多良間地区」の分室開所式 ～宮古圏域農業水利事業所多良間分室 看板掲示式・開所式を開催～

仕事
窓の6

農林水産部



【国営事業の概要】

- ◇受益面積：758ha(畑)
- ◇事業費：275億円
- ◇事業期間：令和8年度～令和17年度(予定)
- ◇主要工事：集水池(新設・改修) 5か所
揚水機場(ポンプ場) 10か所
ファームボンド(貯水タンク) 1か所
用水路 24km
水管理施設 一式

このため、国営事業において、集水池の整備により、新たに畑地かんがい用水を確保するとともに、揚水機場、用水路等の整備を行い、農業用水の安定供給を図ることとしています。

多良間島の農業用水は、一部の農地へは県営かんがい排水事業等で造成された用水施設により配水されていますが、大部分の農地では、用水施設が未整備となっています。このため、農業用水は主に降雨に依存し、天候に左右される不安定な農業経営を余儀なくされており、農業振興の妨げとなっています。

宮古圏域農業水利事業所は、国営かんがい排水事業について、平成二十一年から実施している「宮古伊良部地区」に加え、今年度から新たに「多良間地区」を実施することとなり、事業所名を「宮古伊良部農業水利事業所」から名称変更するとともに、多良間島に「多良間分室」を開設しました。多良間島は、沖縄本島から南西の宮古島と石垣島のほぼ中間に位置し、さとうきびを中心に、かぼちゃ等を組み合わせた畑作経営のほか、飼料作物を栽培して肉用牛を飼育する畜産経営が展開されています。



小八木局長からの挨拶

式では、小八木局長からの主催者挨拶に続き、多良間村役場で長い間、事業の着工に向けて尽力されてきた本村多良間村教育長から事業着手

多良間村コミュニティ施設1階ホールにおいて行われた開所式には、沖縄県、多良間村及び沖縄総合事務局の関係者等約80名が出席しました。



左から 石垣施行申請人、伊良部多良間村長、小八木沖縄総合事務局長、安里農林水産部総務調整官、太田宮古圏域農業水利事業所長、大須賀農村振興課長

6月11日には、開所式に先立ち、多良間分室において、伊良部村長、小八木局長等による看板掲示式が行われました。

▼お問合せ先
農林水産部 農村振興課
☎098・866・1652

経緯の説明、太田宮古圏域農業水利事業所長から事業概要の説明が行われました。本事業を契機に、多良間村農業の更なる発展を目指して、農業用水の安定供給に向けた取組を進めてまいります。



開所式参加者による集合写真